

沼田町橋梁長寿命化修繕計画

平成26年2月

沼田町建設課

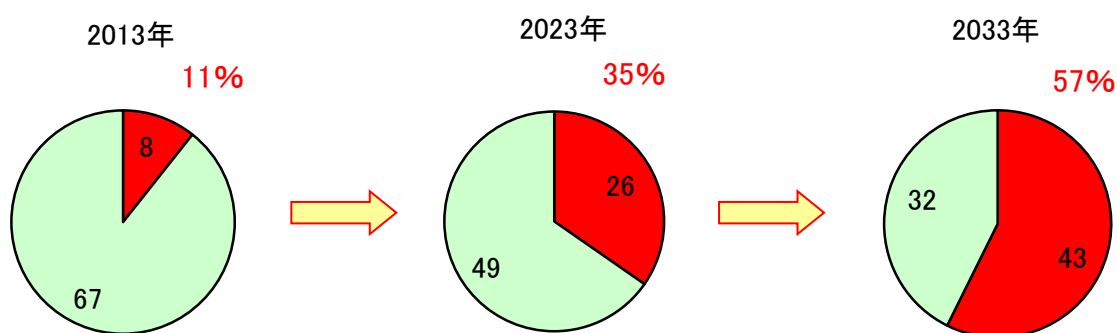
1.長寿命化修繕計画の目的

【背景】

平成21年度及び平成23年度～平成24年度に実施した橋梁点検の結果より、沼田町が管理する75橋について、長寿命化修繕計画策定を行ないました。

○架設後50年以上経過している橋梁は、2013年では8橋となっております。

10年後の2023年には26橋となり35%、20年後の2033年には43橋となり全体の57%が架設後50年以上を経過する橋梁となり急速に高齢化橋梁が増大します。



建設後50年以上経過している橋梁数

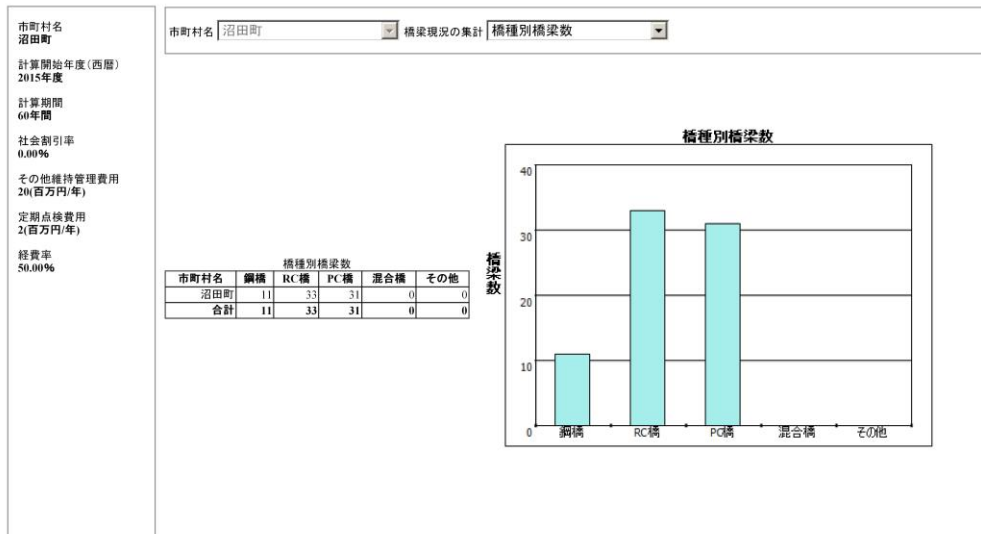
○今後、増大が見込まれる橋梁の補修・架替えに要する費用を可能な限りのコスト縮減するとともに、架替えが一時期に集中しないように橋梁の長寿命化を図る必要があります。

【目的】

○損傷が大きくなってから対策を行なう『事後保全』的な維持管理ではなく、定期的な点検により橋梁の状態を把握し、損傷が大きくなる前に予防的な補修を行なう『予防保全』的な維持管理に転換を図り橋梁の長寿命化と橋梁の修繕に係る費用の縮減を図ります。

○道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定します。

【橋種別橋梁数】



【損傷状況】



4038 高穂2号橋
(橋長 35.00m、1972年架設、42年経過)



4043 堰堤橋
(橋長 27.00m、1971年架設、43年経過)

2.長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級路線	2級路線	その他級路線	合計
全管理橋梁数	27	20	31	78
うち計画の対象橋梁数	26	19	30	75
うちH25年計画策定橋梁数	26	19	30	75

○長寿命化修繕計画の対象は、沼田町の管理する橋梁の75橋です。

3.長寿命化修繕計画の基本的な方針

○橋梁点検

点検マニュアルに基づいて実施し、橋の健全度を把握します。おおよそ5年ごとに行なっていく予定です。

○劣化予測・LCC[※]算出

橋梁点検結果を基に損傷度合いを詳細に分析し、劣化予測を行ないます。

※LCC(ライフサイクルコスト):修繕、撤去、架替え等の維持に必要な費用

○長寿命化修繕計画策定

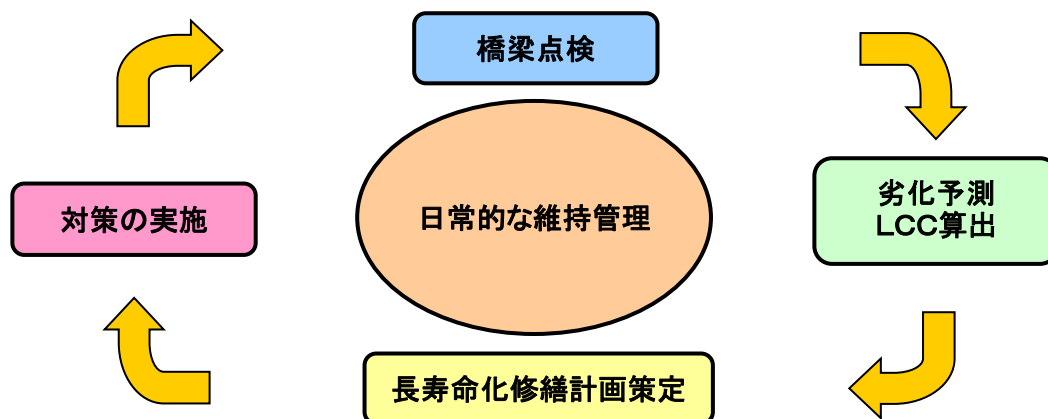
それぞれの橋において、劣化予測およびLCCの算出内容に基づいて、次回の点検時期、修繕時期、架設時期等を専門家に意見聴取の上、計画策定を行ないます。

○対策の実施

長寿命化修繕計画に基づいて順次、修繕を実施します。

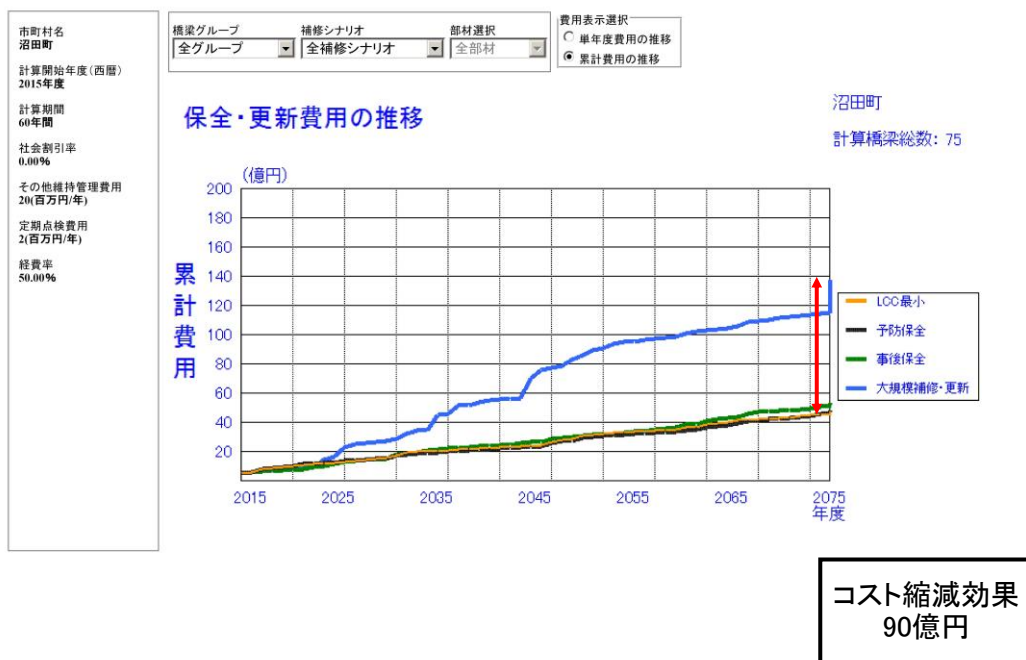
○日常的な維持管理

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施に努めます。



4.長寿命化修繕計画による効果

○今後60年の修繕・架替え事業費を試算した結果、予防保全を導入することで、修繕および架替えに要する経費について、138億円から48億円となり90億円のコスト削減効果が期待できます。



5.計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1)計画策定担当部署

沼田町 建設課

TEL:0164-35-2116

2)意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

北海学園大学 工学部社会環境工学科 教授 杉本 博之